

校友会東京支部総会（高田高校祭）に出席して

平田 輝満（高48回）



高田高校祭に昨年に続き参加しました。
まだ2回目です。

昨年の参加は「天地人」の作者火坂さんの特別講演があり、さらに5年に一度の大抽選会があったという理由が実のところです。昨年は同期は私1人の参加でしたので、楽しいながらもちょっとさみしい気分で祭を後にしました。

通常ですと、今年は火坂さんも来ない、大抽選会もない、昨年1人でさみしかったということで、「今年には行かない」ということになりかねないところ、今年2月に佐久間支部長との懇談会として高48回にお声掛け頂き、7名の同期が集まりました。高校卒業以来という人も多く、恥ずかしささえ感じる嬉しい再会でした。

佐久間支部長から若手参加者の減少など、支部の抱える課題についてお話があり、懇談会終了時には私から「次回の高田高校祭には20名はお約束します！」と相変らずのビッグマウスぶりを発揮。結果としては仕事の都合などもあり、結局今回は5名の参加で、目標には遠く及ばなかったものの、個人的には昨年の1人からゼロにならず5人に増えたことは、今後に向けた大前進だと思っています。



佐久間支部長を囲んで

ここ1年の支部活動を通じ、同郷の友人や先輩はやはり別格だな、ということ改めて痛感し、支部の若返りへの貢献はもちろんですが、なによりかけがえのない同郷の友人たちとのネットワークを今後広げていきたいと思います。

最後に、今回、お付き合いのある芝浦工大の研究室から高田高校出身の学生さん2名も参加し、その研究室で実施している北陸新幹線開業と上越地域の活性化についてのアンケート調査にご協力いただきましたことを、彼らに代わりまして厚く御礼申し上げます。

他にも何名か現役の学生さんが参加していましたが、大学入学後にこの支部に入って大学での生活や就職を考えると、高校の諸先輩方から色々と言頂いていたら良かったなあ、とその時少し思いました。